

小笠原伸子コンチェルトシリーズ Vol.7

三大協奏曲 演奏会

ヴァイオリン 小笠原 伸子

管弦楽 東京室内管弦楽団 / 横浜バロック室内合奏団



2022年 11月25日[金]

神奈川県立音楽堂 14:00開演 (13:15開場)

Beethoven Violin Concerto in D major, op.61
ベートーヴェン ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61

Mendelssohn Violin Concerto in E minor, op.64
メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64

Tchaikovsky Violin Concerto in D major, op.35
チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35

ARTS
ARTS for the future! 2

主催：横浜バロック室内合奏団
協力：一般社団法人東京室内管弦楽団
【文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業】

料金

全席指定 / シニア (70歳以上) 各席10%割引
S席:4,500円 A席:3,500円 B席:3,000円
当日は各席500円増

*シニアチケットにつきましては横浜バロック室内合奏団及び東京室内管弦楽団のみの扱いになります

◆ チケットのお問合せ 7月19日(火)発売予定

横浜バロック室内合奏団事務局 ☎ 045-263-4127

東京室内管弦楽団チケットサービス ☎ 03-6459-0512
(火曜・水曜・木曜 10:00~15:00)

チケットかながわ ☎ 0570-015-415
(受付時間10:00~18:00)

e+(イープラス) <https://eplus.jp>

* ご予約・ご購入後のキャンセル・変更は致しかねますのでご了承ください。
* 未就学児はご入場いただけません。



北海道赤平生まれ。4歳よりヴァイオリンを始める。10歳の時、テレビ「ヴァイオリンのおけいこ」に出演し江藤俊哉氏に出会う。朝日ジュニアオーケストラ、桐朋学園「子供のための音楽教室」や、同オーケストラで研鑽を積み、中学1年の時音楽家を志す。

東京藝術大学付属高校を経て、同大学、同大学院修了。井上武雄、福元裕氏に師事。大学在学中より、数多くのリサイタルを開催する一方、室内楽奏者として演奏会に多数出演。NHKFM出演。イタリアのシエナ、アカデミアキジアーナのマスターコースにて、サルパトール・アッカルドに師事、ディプロマ・ディ・メリトを得る。同地および近郊で演奏活動を行う。1979年より87年まで、神奈川フィルハーモニー管弦楽団に在籍し、コンサートマスターを務めた。1981年横浜弦楽四重奏団を結成、第1ヴァイオリンを務める。1991年に横浜バロック室内合奏団を結成し、コンサートマスター、プロデューサーとして横浜を中心に広く活動。同合奏団では、2006年に第18回「ヨコハマ遊大賞」、2009年に「横浜文化賞文化芸術奨励賞」を受賞した。

2014年～東京室内管弦楽団コンサートマスターとなり、2014年12月にはロシアにてトムスクフィルハーモニックオーケストラ、ノボンビルスク室内管弦楽団と共演した。2015年より協奏曲シリーズを開始、2015、16、17、18、19、21年と神奈川県立音楽堂にてベートーヴェン、メンデルスゾーン、チャイコフスキーの三大協奏曲を演奏(共演東京室内管弦楽団・横浜バロック室内合奏団)し好評を博す。2018年4月には東京文化会館にて東京室内管弦楽団にてモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第5番のソリストを務め、好評を博す。2001年～2019年、毎夏イタリアのトスカナ地方の音楽祭に出演。2004年からは毎年9月にパッハの無伴奏全6曲リサイタルを開催。2021年9月には第18回目を迎えた。2016年には無伴奏6曲のライブ録音CDをリリースし、またフィレンツェの2016年サンフィレンツェ教会、2017、2018年オンニサンティ教会にてパッハの無伴奏曲のリサイタルを行い好評を博す。

生活の中で身近に音楽に親しむ場を広げる事をライフワークとし、横浜バロック関内サロンでのサロンコンサート(2022年7月に770回目を迎えた)や、横須賀の自宅でのホームコンサート(2022年現在201回開催)など息の長い活動を通して、音楽の普及に努める。

小笠原伸子公式HP / <http://www.yokohamabarock.com/ogasawara.htm>



東京室内管弦楽団公式HP
<https://www.tco.or.jp>



東京室内管弦楽団

Tokyo Chamber Orchestra

新しい「感動」と出会うオーケストラ

1928年創立。東京都港区を本拠地に活動し、90年に及ぶ伝統と多くの実績をもつ室内管弦楽団。1954年より、故いわくほさを代表・音楽監督指揮者となり「求められる演奏活動」を掲げ、その理念に基づきクラシックはもとより音楽全般(ロック、ジャズ、ポップス、タンゴなど)ジャンルの枠を超えた演奏活動をいち早く展開。1964年には全国の学校を対象に「オーケストラ鑑賞教室」を開始。1968年、日・琉・米親善文化使節として民間のオーケストラとしては戦後初の琉・米公演を行い、1975年、日・比親善公演を行うなど国際的にも活躍。1980年代後半には、ゲーム音楽の分野にも積極的に取組みレコーディングや演奏など活動の幅を広げ、年間を通じて様々なジャンルの音楽を演奏しているのも特徴の一つ。



横浜バロック室内合奏団公式HP
<https://www.yokohamabarock.com>



横浜バロック室内合奏団

Yokohama Barock Kammermusik Ensemble

1991年ヴァイオリニスト小笠原伸子(元神奈川フィルコンサートマスター)を中心に横浜で活躍する弦楽器奏者たちによって、結成された。横浜みなとみらいホールでの年4回の定期演奏会をはじめ、小さなサロンでの身近なコンサートを年100回以上開いている。設立時に命名された横浜バロックの名は、弦楽合奏の最も重要なレパートリーであるヴィヴァルディやパッハをはじめとするバロック音楽に由来し、ヴィヴァルディが活躍した海洋貿易の国際都市であったヴェネツィアと同じく、港湾都市横浜で、躍動感と即興性に満ちたバロック音楽を、人々の身近な場所で演奏し、地域に根ざした活動をしていきたいという願いをこめて名づけた。横浜みなとみらいホール小ホールでの年4回の定期演奏会では、ヴィヴァルディ「調和の霊感」全12曲演奏をはじめ、意欲的なプログラムに取り組み2022年7月には102回を迎えた。地域の文化に貢献した活動が認められ、2006年には「ヨコハマ遊大賞」を、2009年には「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」を受賞。2007年よりFMブルー湘南の音楽番組制作に協力し、団員のトークを交えたライブ録音が放送されている。今までにCD10枚をリリース。ホームグラウンドの横浜バロック関内サロンでは毎週水曜日のランチタイムコンサートをはじめとして数々のコンサートを開催し、2022年7月には770回目を迎えた。日常の中でゆったりと音楽と共に過ごす空間を提供している。

木のホール
神奈川県立音楽堂
Kanagawa Kenritsu Ongakudo

神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘 9-2
県立音楽堂業務課 TEL:045-263-2567

■アクセス

- * JR・市営地下鉄「桜木町駅」(南改札西口、北改札西口) 徒歩 10分
- * 京浜急行「日ノ出町駅」/徒歩 13分
- * バス 横浜駅東口バスターミナルから乗車「紅葉坂」下車/徒歩 7分
「戸部1丁目」下車/徒歩 5分

